事業完了報告書

提出日:2023年4月12日

1	車業輝更
1	事未燃 安

(1) 実行団体名 :株式会社 sonraku

(2) 事業名 : 自然エネルギーを使った"自立・分散型エネルギー設備"による地域活性化

ソーシャルビジネス

(3) 事業実施期間 : 2020 年 11 月 5 日~2023 年 3 月 31 日

(4) 資金分配団体名:一般財団法人 社会変革推進財団

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。		
(1)事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。		
☑ 完了 / □ 整備中		
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整		
備状況が改善された点を記載してください。		
(2) 整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。		
□ 全て公開した / ☑ 一部未公開 / □ 未公開		
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。		
競合との競争にさらされている営利企業であるため、資金分配団体と相談の上、一部の規程と「休眠 預金等活用における実行団体としての業務ガイドライン」を公開しています。一方で、資金分配団体 への規程類の共有は全て行われています。		

(3) 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。

☑ 変更があり報告済 / □ 変更があったが未報告 / □ 変更はなかった

→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

ただし、JANPIA と協議の結果、資金分配団体による確認をすることとなりました。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

(1) 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。

☑ はい / □ いいえ

→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。				
(2) 内部通報制度は整備されていますか。				
☑ はい / □ いいえ				
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。(複数選択可)				
☑ 内部に窓口を設置 / ☑ 外部に窓口を設置 / ☑ JANPIA の窓口を利用				
(3) 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。				
☑ はい / □ いいえ				
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。				
(4) 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。				
☑ はい / □ いいえ				
 →上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。				
(5) コンプライアンス責任者を設置していましたか。				
☑ はい / □ いいえ				
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。				
(6) ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。				
☑ はい / □ いいえ				
実行団体となったことを受けて、新たに以下の規程を整備しました。				
・役員の報酬等並びに費用に関する規程				
・倫理規程				
・コンプライアンス規程				
・文書管理規程				
・リスク管理規程				
・経理規程				

(7) 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。(実施予定の場合を含む)			
□ 外部監査 / □ 内部監査 / ☑ 実施予定もない ※(複数選択可)			
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。			
法定監査を有する企業の対象外であり、任意監査も事業規模に比して負担が大きく実施しておりませんが、業務執行や財務状況の管理、法令や社内規程の遵守について適切に行うよう日々努めています。			
(8) 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。			
<i>N</i> •			
□ はい / ☑ いいえ			

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。					
(1)シンボルマークの活用状況					
□ 自団体のウェブサイトで表示している / ☑ 広報制作物に表示している					
□ 報告書に表示している / □ イベント実施時に表示している					
□ その他					
→「その他」を選択した場合は記載してください					
(自由記述):					

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載(TV・ラジオ・新	有	・_【地方情報メディア】ケンジン (5/30)
聞・雑誌・WEB等)		・ <u>北海道の人、暮らし、仕事。くらしごと</u> (8/4)
		・ <u>ソーシャルタウンガイド</u> (11/17)
		・山陽新聞 (3/20)
広報制作物等		・厚真町 CHP 導入レポート
		・動画「sonraku CHP 5 minutes 001」
報告書等		・事後評価報告書

- 5. その他(本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応 /あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。)
 - ・本助成を通じたメディア掲載や広報制作を通して、地域の森林資源を有効活用したエネルギー供給・経済の循環の重要性の客観的評価を得られたと共に、幅広い層に向けた発信をすることができた。
 - ・助成以外の資金調達の部分について、出資者とのマッチングなどプロジェクトファイナンスに関する支援も必要だと感じた。

【添付資料】

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度(1 枚 2MB 以下)ご提出ください。(肖像権・著作権に十分にご注意ください。)

設備全容。一番奥の白いコンテナが Volter 社の小型 CHP(熱電併給システム)。手前のコンテナ 2 台で木質チップを乾燥させ、乾燥させたチップをサイロ(黒い建物)に投入して、CHP へ燃料として送り込む。発電した電気は北海道電力(株)に販売し、発生する熱はチップの乾燥に利用する。



Volter 社小型 CHP(Volter40 Outdoor) アウトドアタイプでの商業利用は日本初の事例。



チップ製造の様子。



乾燥を終えたチップをサイロへ投入。



※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真(使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等)を選んでいただきますようお願いいたします。